

**MORY**

令和7年3月期 決算説明資料

令和7年5月9日

**モリ工業株式会社**



**MORY INDUSTRIES, INC.**

証券コード：5464

# 目次

1. 令和7年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 令和8年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
5. その他参考資料	25

# 令和7年3月期 連結決算概要

売上高

**461億円**

(前年度同期比  $\Delta$ 3.7%)

営業利益

**53億円**

(前年度同期比  $\Delta$ 8.5%)

経常利益

**57億円**

(前年度同期比  $\Delta$ 10.5%)

親会社株主に  
帰属する  
当期純利益

**41億円**

(前年度同期比  $\Delta$ 8.7%)



# 令和7年3月期 連結決算概要

売上高  
営業利益率

**11.7%**

(前年度比  $\triangle 0.6\%$ )

自己資本利益率  
【ROE】

**7.5%**

(前年度比  $\triangle 1.1\%$ )

自己資本比率

**79.5%**

(前年度比  $+1.9\%$ )

株価純資産倍率  
【PBR】

**0.68倍**

(前年同期は0.91倍)



# 令和7年3月期 決算のポイント



## 前年同期比減収減益だが、当初予想は超過達成

- ・当初ステンレス管の量の減少を見込むも、横ばいで推移。販売単価も当初予想に反し、上期上昇したため通期では予想より下げ止まった。
- ・鋼管は建設仮設材の需要が低迷。



## 国内需要の低迷→生産体制の強化

- ・安価な輸入材の増加。
- ・生産設備のリニューアル、作業環境の改善に注力。

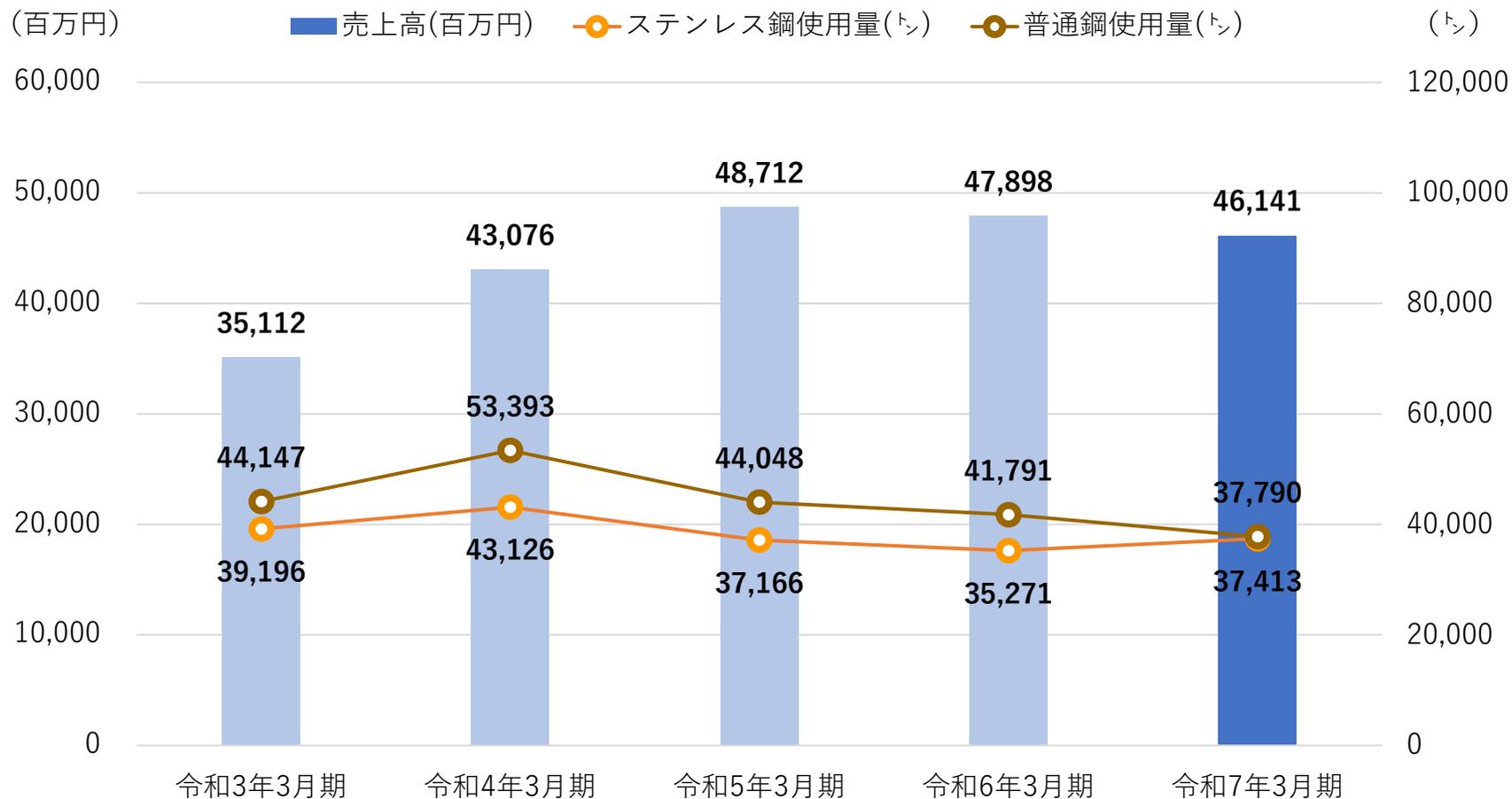


## 期末配当の増配

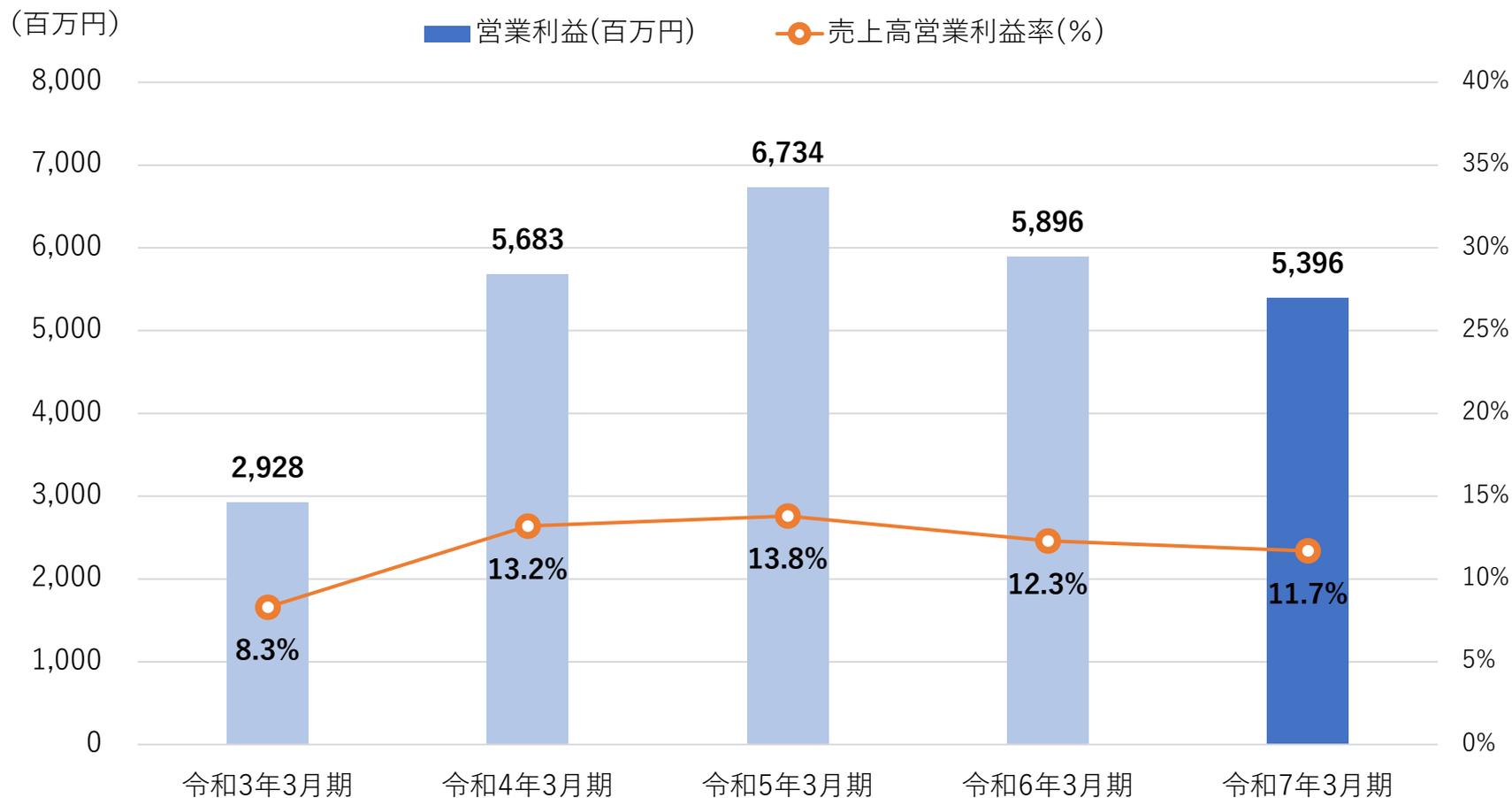
- ・期末配当については当初予定の1株当たり100円から130円に増配。（株式分割前）
- ・自社株買いを実施したことにより総還元性向は53%。



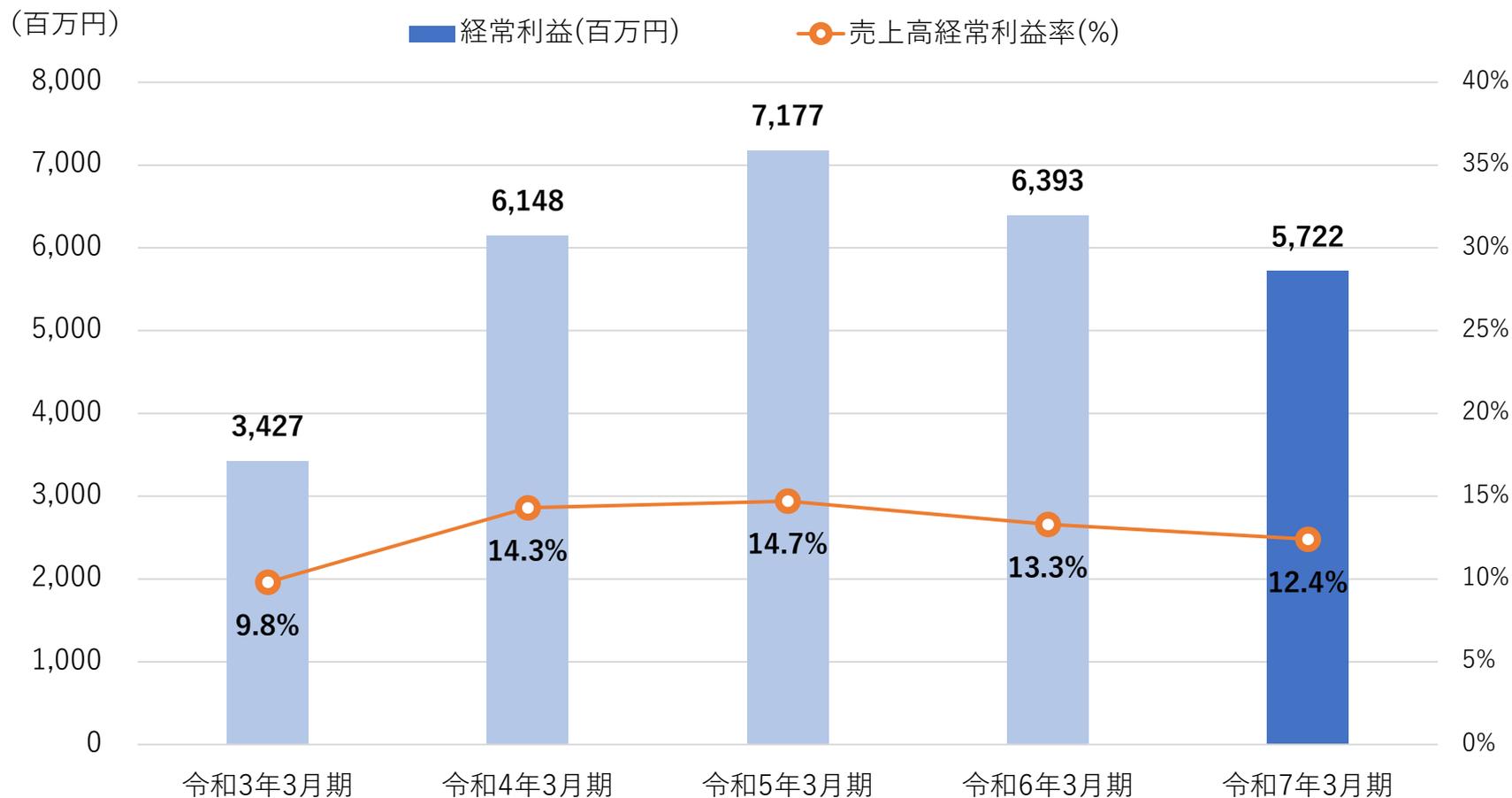
# 連結売上高の推移



# 営業利益の推移

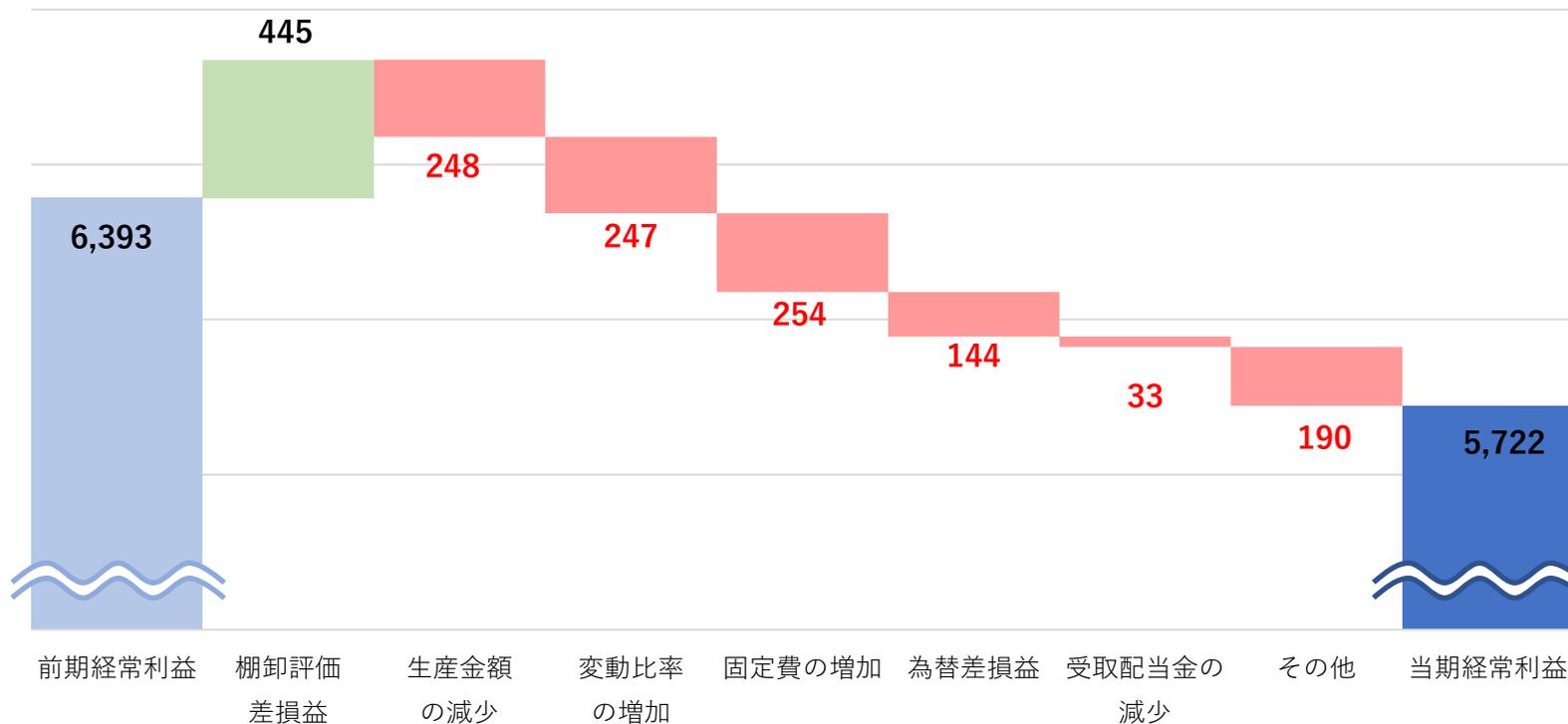


# 経常利益の推移



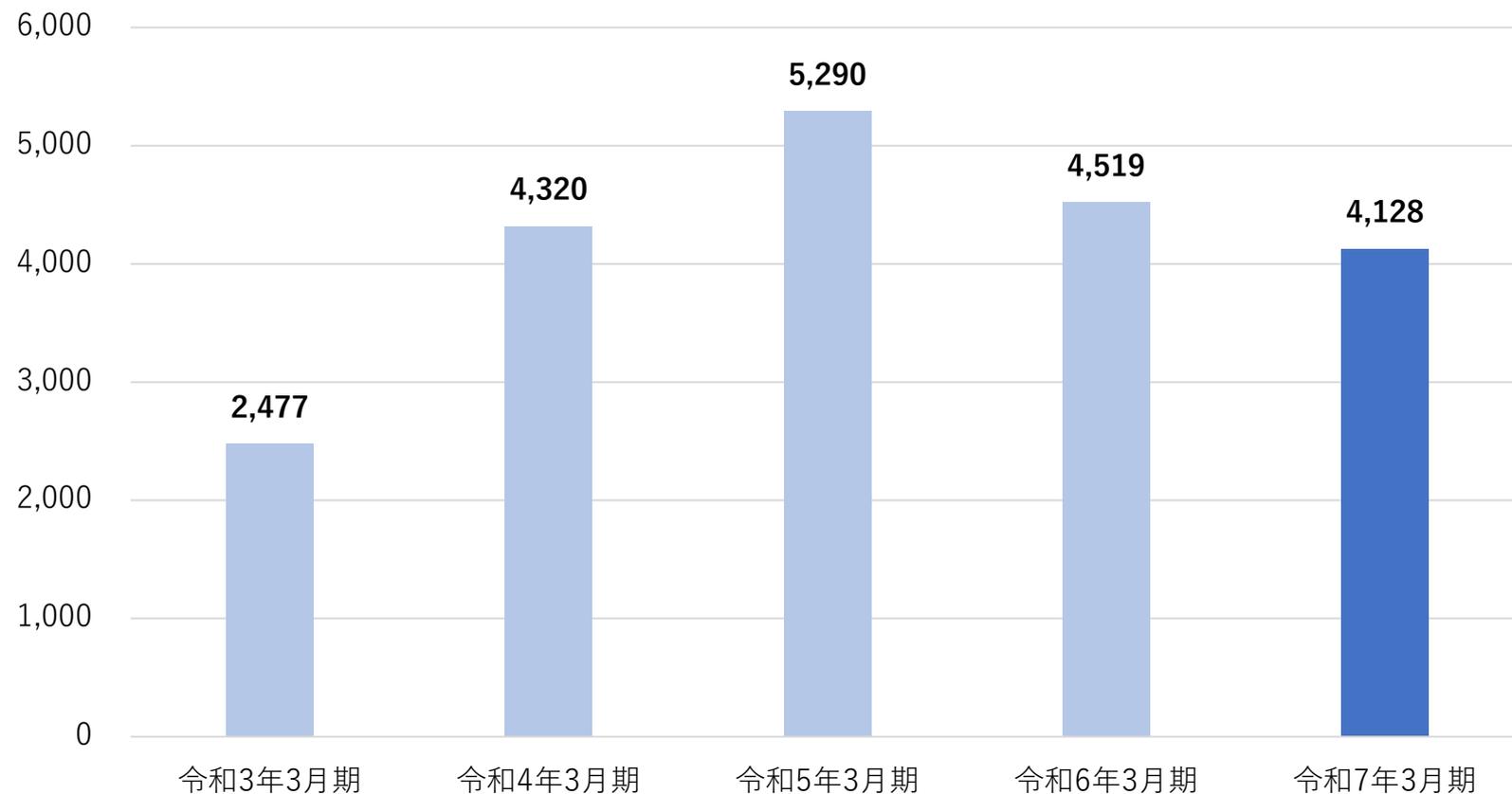
# 当期の経常利益増減要因（前期対比）

（単位：百万円）

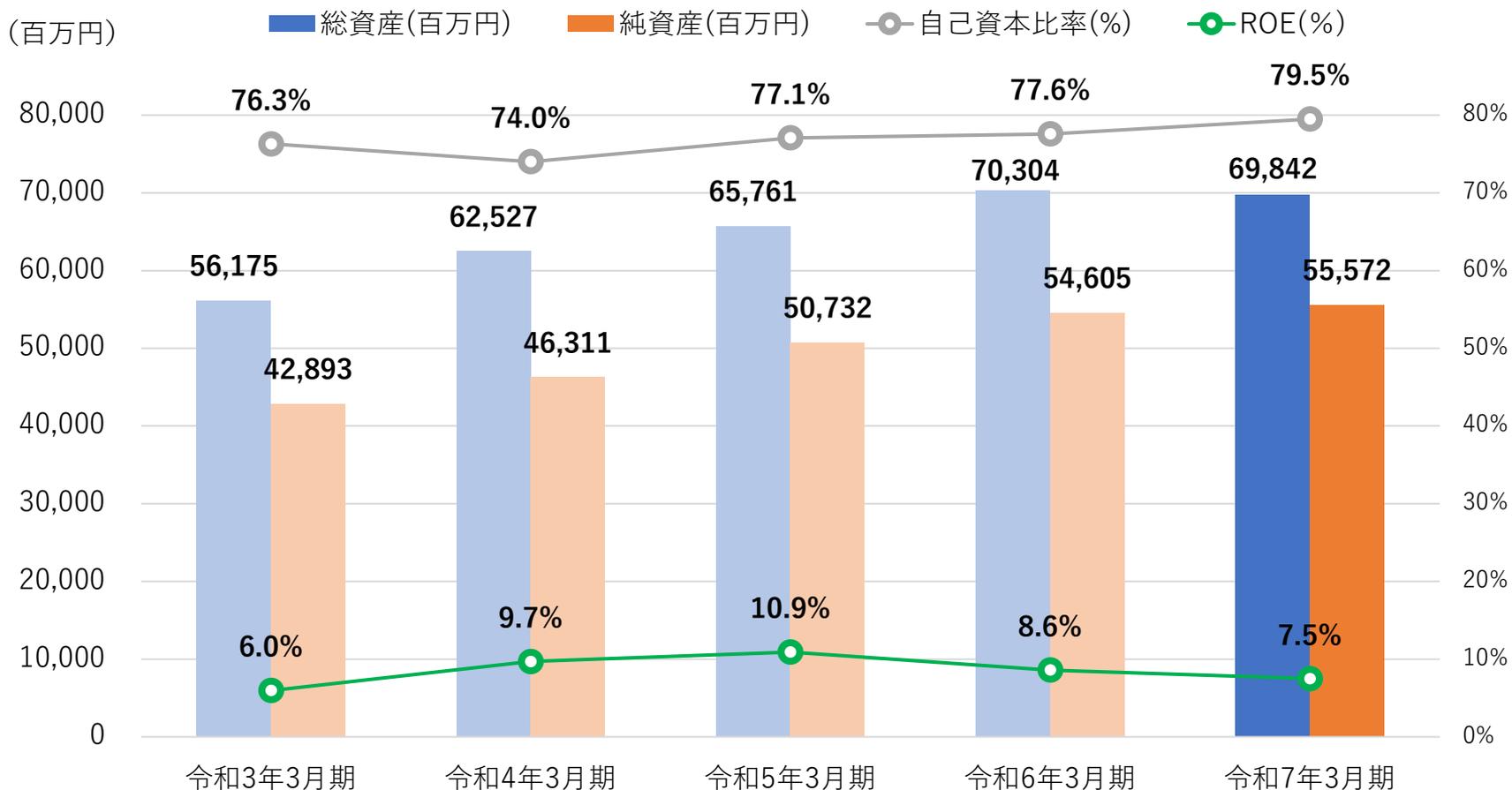


# 親会社株主に帰属する純利益の推移

(百万円)



# 総資産、純資産、自己資本比率、ROE



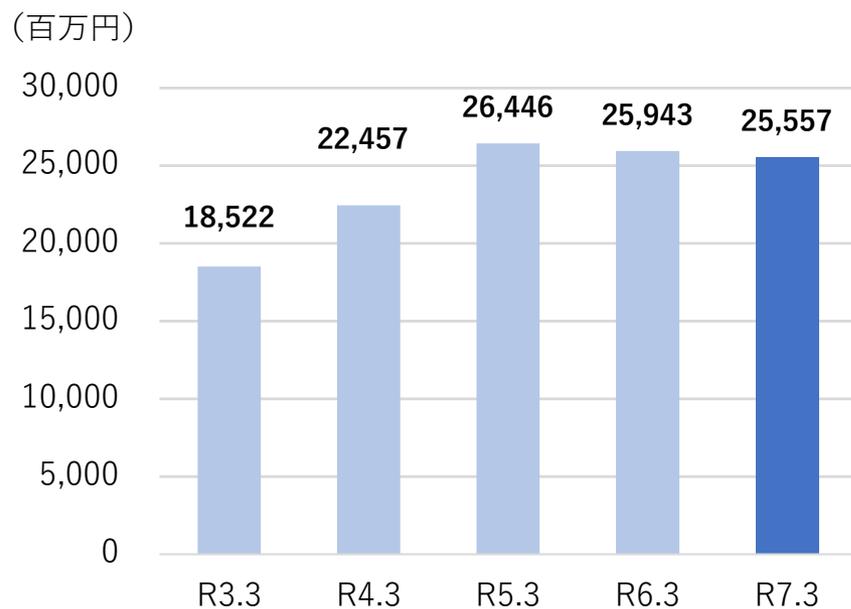
# 目次

1. 令和7年3月期 連結決算概要	3
<u>2. セグメント・製品部門別の売上高</u>	<u>12</u>
3. 令和8年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
5. その他参考資料	25



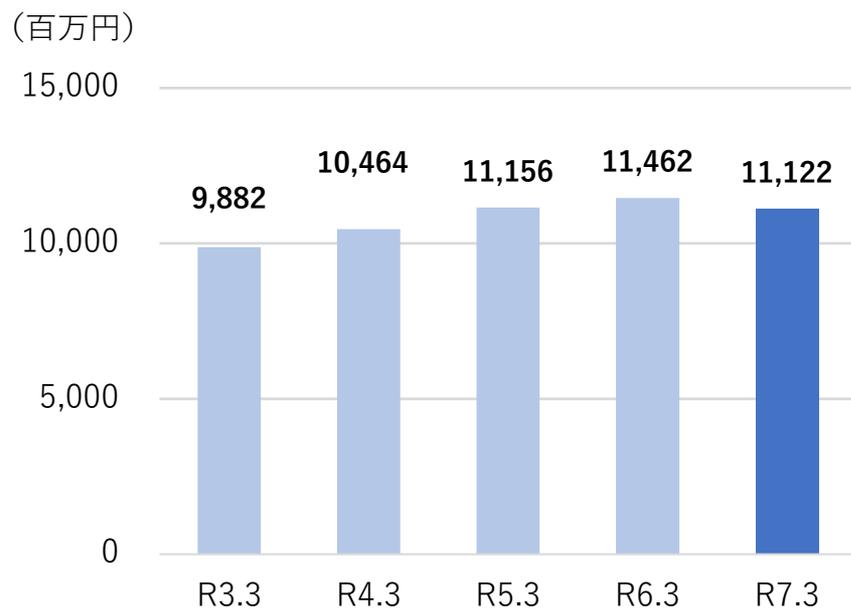
# 製品部門売上高（ステンレス管）

- 自動車用・配管用ともに販売単価が低下。



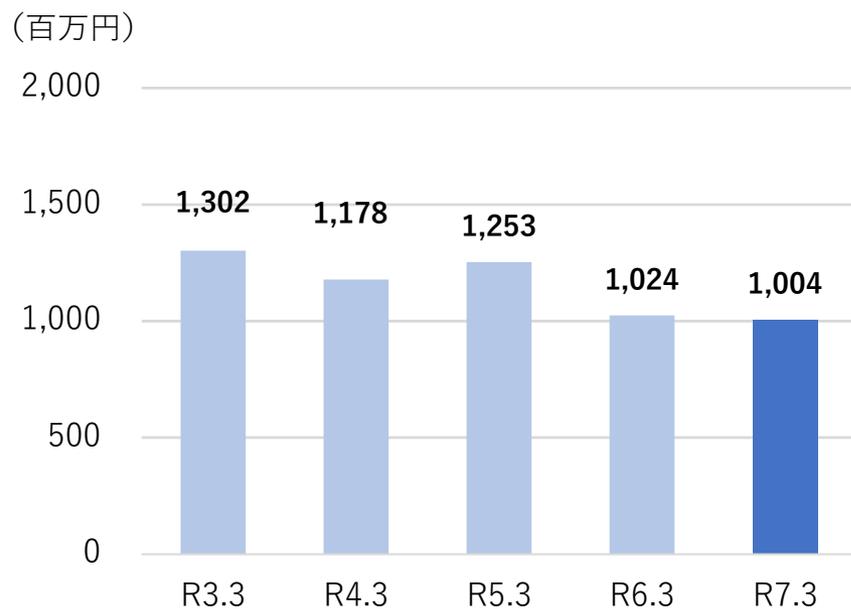
# 製品部門売上高（ステンレス条鋼）

- 販売数量が減少。



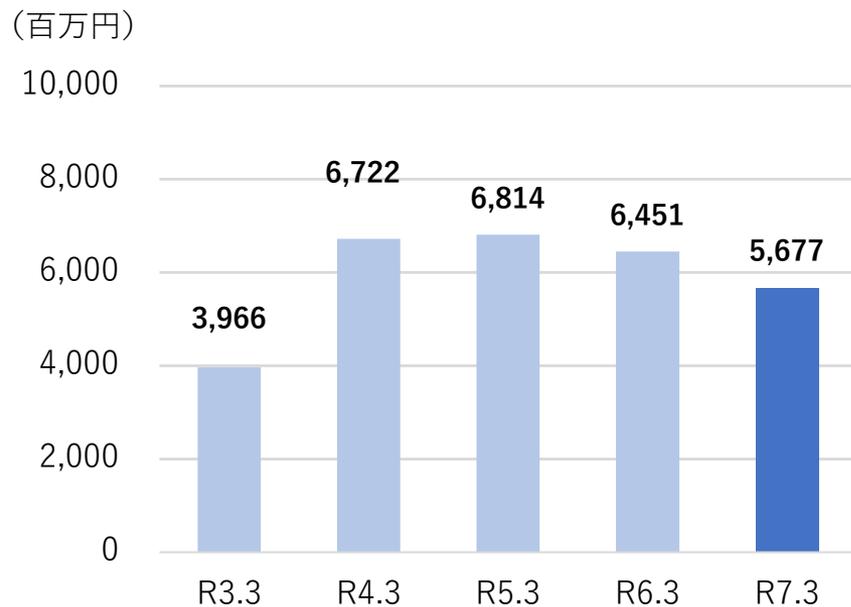
# 製品部門売上高（ステンレス加工品）

- 給湯器用フレキ管の売上が回復。



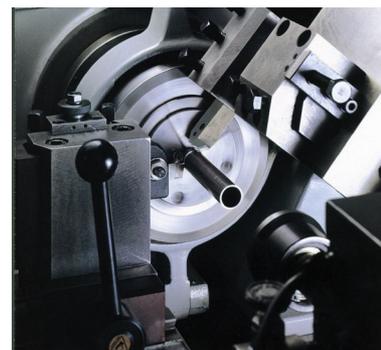
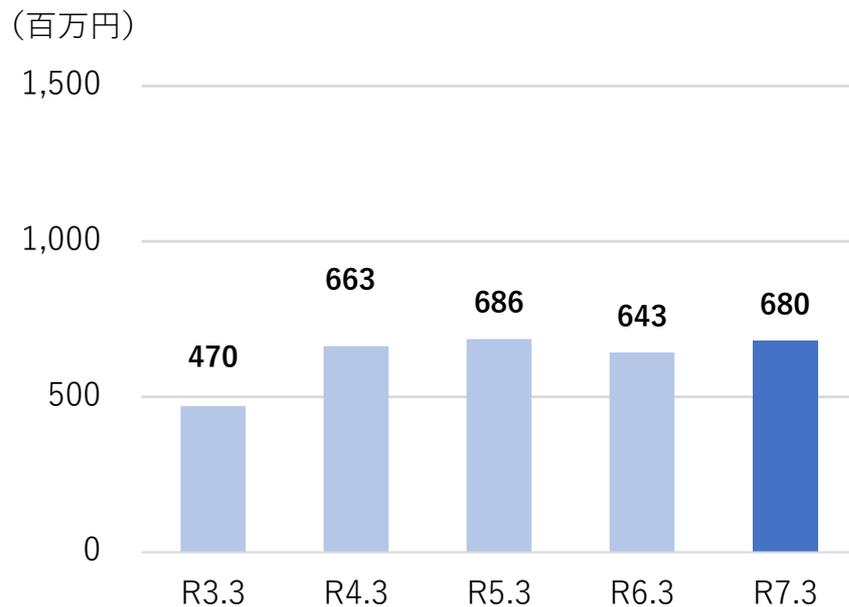
# 製品部門売上高（鋼管）

- 建設仮設材用は大幅に数量減少。



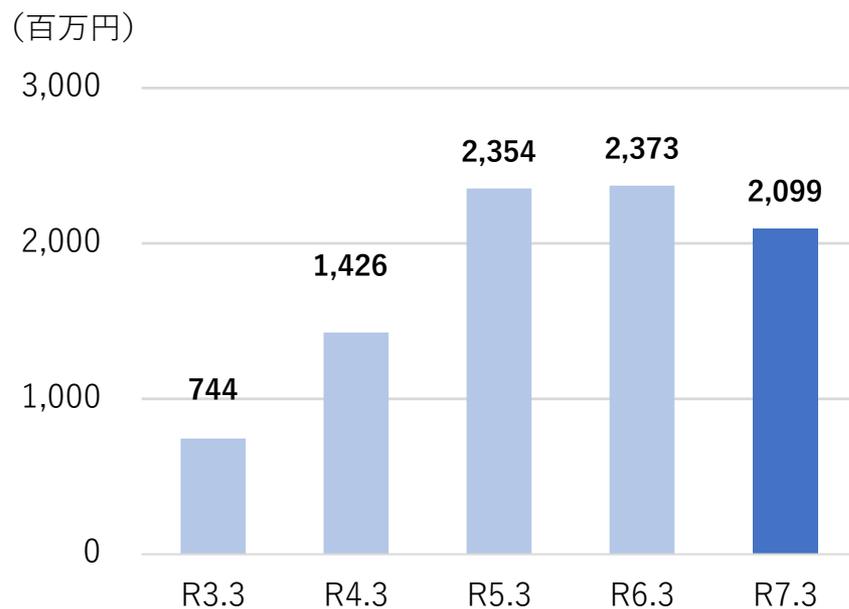
# 製品部門売上高（機械）

- 取引先の設備投資意欲が回復傾向。



# インドネシア

- 二輪用は客先の一部が内製化を開始、  
四輪用は完成車のローン審査厳格化により、  
ともに販売数量減少。



# 目次

1. 令和7年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 令和8年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
5. その他参考資料	25

# 令和8年3月期 連結業績予想

売上高

458億円

(前年度比  $\triangle 0.7\%$ )

営業利益

46億円

(前年度比  $\triangle 14.8\%$ )

経常利益

48億円

(前年度比  $\triangle 16.1\%$ )

親会社株主に  
帰属する  
当期純利益

34億円

(前年度比  $\triangle 17.6\%$ )



# 令和8年3月期 業績予想のポイント

## 環境

- ・海外では、紛争中のウクライナ情勢や中東情勢は長期化する中、米国のトランプ大統領が世界各国に対して追加関税を宣言するなど世界的な景気後退のリスクが強まっている。
- ・国内では、物価高への懸念が根強いが、名目賃金の増加が続き、消費者マインドも徐々に改善し、インバウンド需要の増加基調と合わせ景気は緩やかに持ち直す。しかしながら、海外での不確定要素が多く、それが国内の消費者マインドの悪化や企業の投資意欲の減退につながる可能性もあり。

## 売上

- ・世界的な景気の先行き不透明感により、実需の回復は困難で、販売数量は前年比横ばいを予想。
- ・販売価格は前年下期の低下傾向が継続すると予想。

## 利益

- ・材料価格の大きな変動はなく、販売価格との値差は縮小。人件費や運送費等のコストアップもあり、減益を予想。

# 令和8年3月期 重点取組テーマ



## 配管の競争力強化

- ・ 主要製品である配管の生産効率の向上と、販路の拡大により競争力を強固なものにする。



## 設備のリニューアル

- ・ 既存生産設備の改修・改善、最新鋭の設備導入による能力最大化・安定操業確保を図る。
- ・ 分散する工場を集約する新工場の建設を進める。



## 技術のチャレンジ

- ・ 環境規制や高度情報化社会など、新しい課題の解決に貢献する技術の向上に取り組む。
- ・ 外部アライアンスも積極的に検討し、新しい事業領域への足掛かりを探る。



## 人的資本の強化

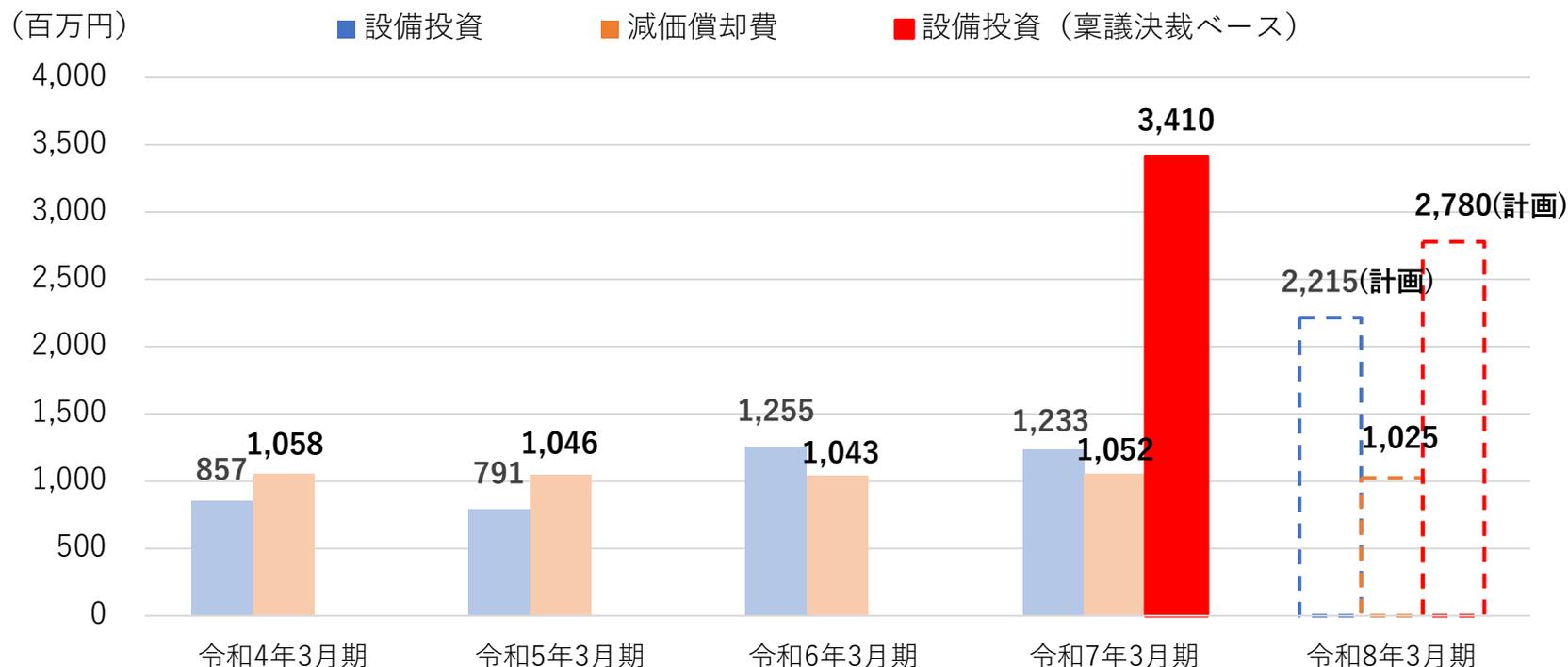
- ・ 従業員エンゲージメントを向上させる人事制度改革の実現。

# 中期経営計画MORY-PLAN26の 進捗状況—財務目標—

	令和7年 3月期計画	令和7年 3月期実績	令和8年3月 期当初目標	令和8年3月 期修正目標	令和9年 3月期目標
売上高 (億円)	450	461	496	458	515
ステンレス管	243	255	268	251	278
ステンレス条鋼	108	111	120	112	125
ステンレス加工 品	10	10	12	11	15
鋼 管	61	56	66	55	66
機 械	6	6	6	5	6
インドネシア	22	20	24	22	25
営業利益 (億円)	47	53	56	46	59
ROE直近5年平均 (%)	8.3	8.5	8.6	8.5	8.1

# 設備投資・減価償却費の実績と計画

・令和8年3月期の設備投資の主なものは、既存設備のリニューアル（造管機、圧延機など）を見込んでいる。一部、部品の入手の遅延が予想され、前倒し手配のため計画が増額となっている。



※有形固定資産のみの金額を記載

# 中期経営計画MORY-PLAN26の 進捗状況—投資計画—

- 令和7年3月期から令和9年3月期の3年間で90億円規模の投資を計画  
既存事業と経営基盤の強化を喫緊の課題と認識し、重点的に投資を実行

		令和7年3月期 実績	令和8年3月期 計画	
営業キャッシュフロー  自己資金	<b>既存事業強化枠 50億円</b>	既存設備のリニューアル 30億円 工場の新設、設備の新設・増設 20億円	17.9億円 16.2億円 <small>(稟議決裁ベース)</small>	23.7億円 3.5億円 <small>(稟議決裁ベース)</small>
	<b>新たな分野への挑戦枠 15億円</b>	新たな海外進出の検討、足がかり 10億円 新製品の生産体制確立 5億円	— — <small>(稟議決裁ベース)</small>	0.6億円 — <small>(稟議決裁ベース)</small>
	<b>経営基盤強化枠 25億円</b>	DX投資 14億円 人的資本投資 11億円	1.2億円 2.1億円	0.9億円 3.9億円
	<b>株主還元</b>	連結配当性向40%程度を維持	39.3% 総還元性向 53.0%	40.2%

堅実かつ戦略的な投資と安定した配当性向の実現を目指す

# 中期経営計画の振り返り



## 令和7年3月期計画と実績との差異

- ・当初の想定より販売量の減少が少なく、また販売単価も緩やかに下落したことにより当初想定を上回り、計画より増収増益となった。



## 令和8年3月期当初計画と修正目標との差異

- ・国内需要の低迷により、新規販路の拡大が当初予定より遅れており、またユーザーサイドの新規事業計画の遅れにより、当初目標を修正。



## 投資計画について

- ・既存事業強化投資は順調に進んでいるが、新たな分野への投資は予定より遅れている。

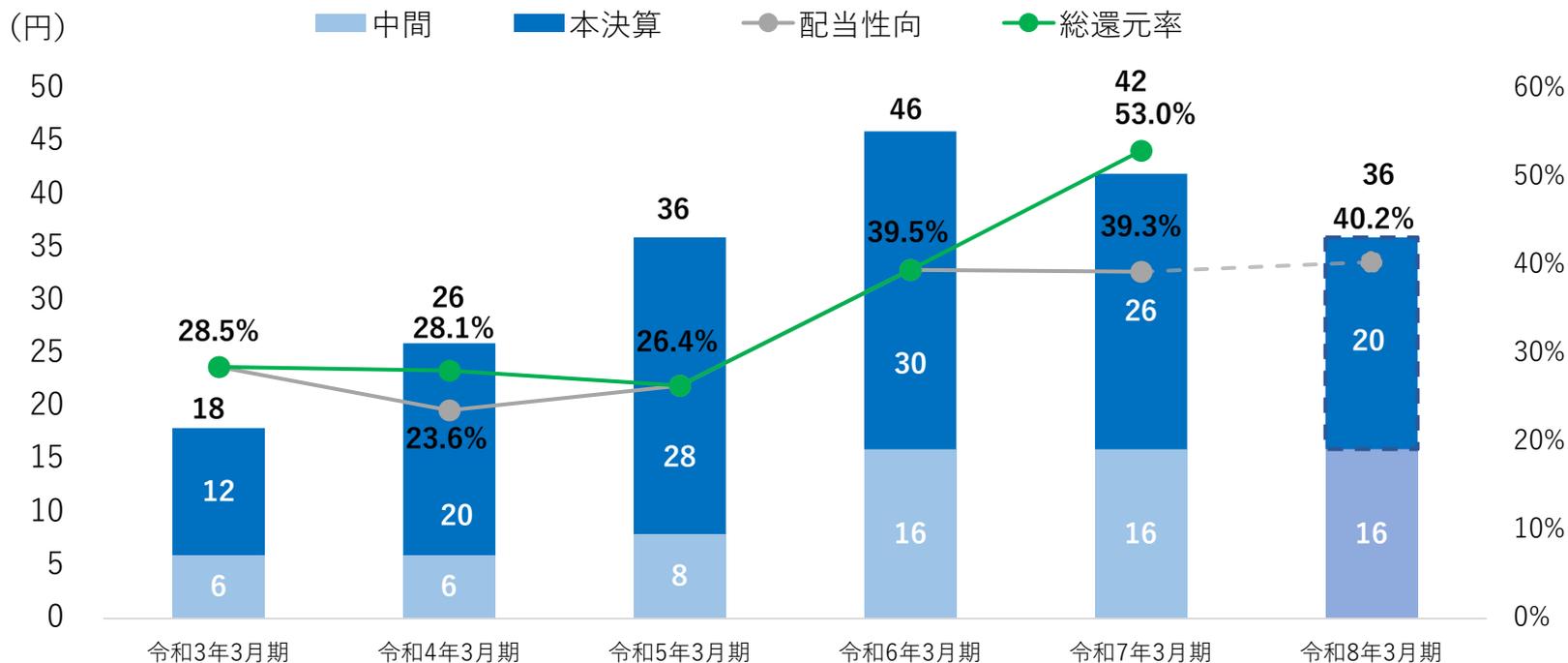
# 目次

1. 令和7年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 令和8年3月期 連結業績予想	19
<u>4. 株主還元</u>	<u>23</u>
5. その他参考資料	25

# 株主還元実績と予想

- 株主還元については、連結配当性向を40%程度。
- 令和7年2月に自社株買いを実施。

※当社は令和7年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割実施。令和3年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金・配当性向・総還元率を算定。



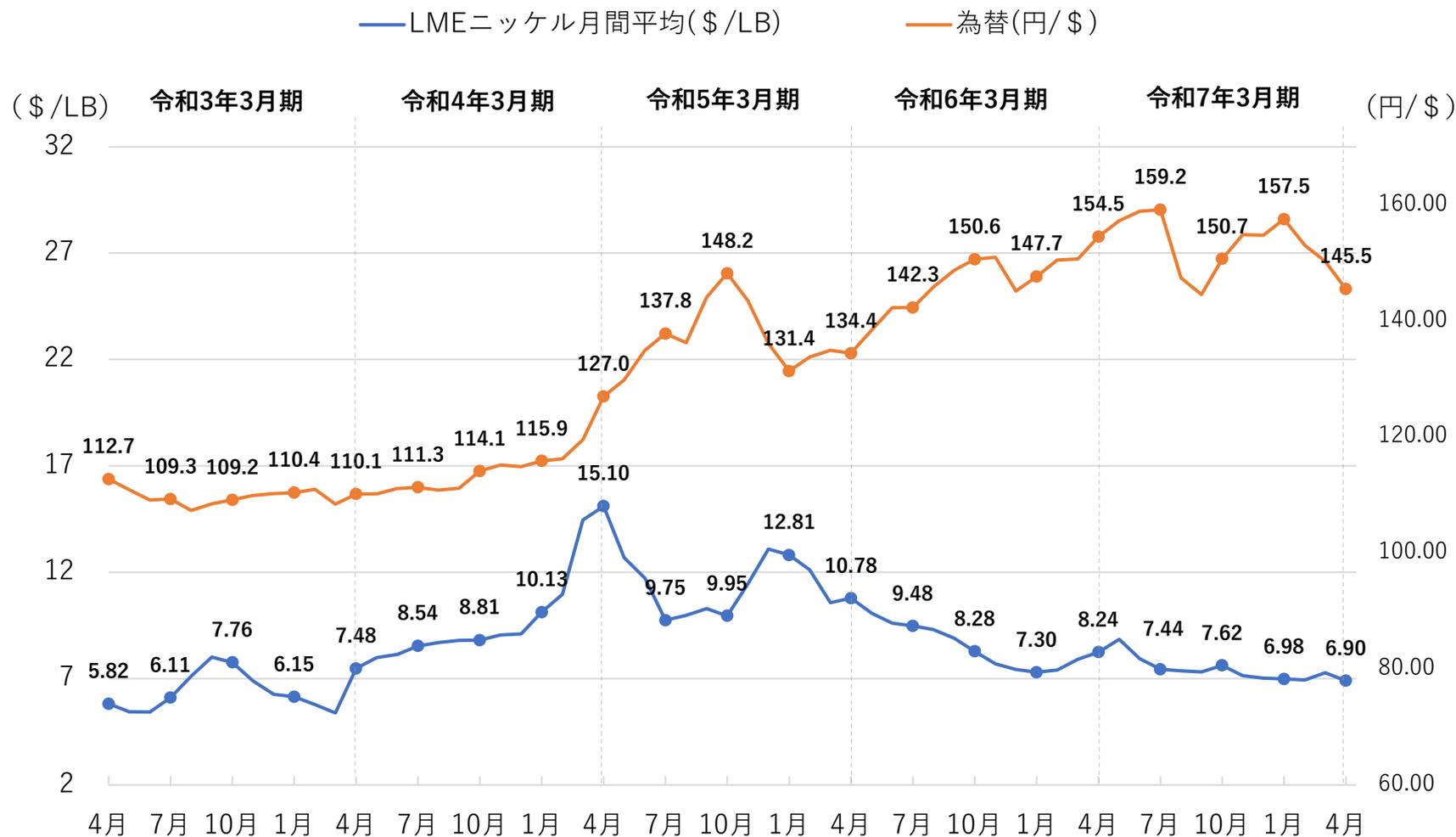
※令和3年3月期、令和5年3月期、令和6年3月期は自社株買いなし (予想)

# 目次

1. 令和7年3月期 連結決算概要	3
2. セグメント・製品部門別の売上高	12
3. 令和8年3月期 連結業績予想	19
4. 株主還元	23
<u>5. その他参考資料</u>	<u>25</u>

---

# LMEニッケル価格、為替の推移



# MORY

今後とも一層のご理解とご支援を  
賜りますようお願い申し上げます

## モリ工業株式会社

本資料は投資家の参考に資するため、モリ工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、本資料作成時点で予測可能な情報に基づく当社の経営陣の判断に基づいております。したがって、これらの将来に関する記述には、様々なリスクや不確実性があります。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。